

2015年3月期 第2四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

◆国際線について

Q. SKY SUITE の導入スケジュールについて教えてください。

A. SKY SUITE は 777,767 に加え、12月16日から成田＝フランクフルト線、2015年1月22日より成田＝ニューヨーク線に787を導入することが決まっております。今後導入していく787は、機材受領の時点で既に新しい仕様の座席が装着されております。

Q. アジア・オセアニア線の LoadFactor が低い原因について

A. オセアニア線は好調に推移しておりますが、アジア路線については、政情不安に起因するバンコク線、韓国線の不振などが原因でございます。

Q. 2015年3月20日より開設される関西＝ロサンゼルス線のように、地方から海外への新規路線の採算性は？

A. 新規路線開設にあたっては、確実な収益性があることを前提条件としております。

◆国内線について

Q. 国内線に導入している JAL SKY NEXT の効果について現状を教えてください。

A. JAL SKY NEXT は5月28日より導入しており、旅客数増加に寄与しております。福岡線では特にビジネスのお客さまに多くご利用いただいております。

◆費用について

Q. 787へSKY SUITEを導入すると整備費は増加するのですか。

A. 787へのSKY SUITE導入は納入の時点で新仕様となっているため、これによる整備費の増加は見込んでおりません。

◆その他

Q. 円安のインパクトは？

A. 費用面では、燃油費相当の85%の為替ヘッジが終わっており、今年度に関しては影響は限定的です。来年度のヘッジは45%まで進んでおりますが、来年度の影響は今年度に比べ大きくなります。

収入面では、近年増加している海外発のお客さまの単価上昇が見込まれます。

Q. 企業価値の向上として、女性の活躍をどのように進めていくのでしょうか。

A. グループ全体の47%が女性であり、そのうち管理職は14%です。また、35名の役員の内、3名が女性です。JALグループは2023年度末までに女性管理職比率20%を目指し、各社個別の行動計画に取り組んでいます。

Q. リスク管理の観点から、エボラ出血熱に対し、社内の対応はどのようにしておりますか。

A. 関係省庁と連絡をとり有事の際の対応のシミュレーションをしている他、社内への教育、機内での対応については規定を整備し、感染リスクが高い地域からのお客様の事前把握や機内への簡易防護キットの搭載など、ご搭乗前に可能な水際対策を検討しています

以上